

ANNOUNCEMENT

ご案内

New MFA program

GLOBAL ART PRACTICE

to be established in April, 2016

Graduate School of Fine Arts, Tokyo University of the Arts

東京藝術大学大学院 美術研究科

グローバルアートプラクティス専攻(修士課程)新設

(2016年4月)

詳細については、8月上旬に公表予定の『平成28年度東京藝術大学大学院美術研究科(修士課程)グローバルアートプラクティス専攻 募集要項』で確認してください。なお、募集内容等は予定であり、変更がおこる場合があります。

■グローバルアートプラクティス専攻(修士課程)

東京藝術大学は、2016年4月から大学院美術研究科 グローバルアートプラクティス専攻 (GAP専攻) (修士課程) を新設します。GAP専攻は、グローバルな文脈で現代アートの社会実践を志向する研究と人材育成を目的とする専攻です。本専攻は、日本を越えてオルタナティブなネットワークや相互の社会関係を拡大するものです。国際的に活躍するアーティストや専門家の指導による本専攻は、大学院生がアーティストや研究者としてとして指導的な役割を果たせるために、柔軟に構成された革新的なプログラムを開設します。

◆ 主なカリキュラム:

1. グローバル・アート・プラクティス

世界最高峰の美術系大学と本専攻の教員・学生がユニットを構成して共同カリキュラムの授業を実施し、日本と相手国において実技授業を開講します。授業は原則として英語でおこないます。

■ 2016-2017年: グローバルアート共同カリキュラム 開催予定校:

ロンドン芸術大学・セントラル・セント・マーティン校

パリ国立高等美術学校

シカゴ美術館付属美術大学

2. グローバル・アート: 社会実践論講義

世界トップクラスの専門家による講師陣を海外から招聘し、グローバルな文脈で現代アートの社会実践における重要な問題を取り上げ講演会やフォーラムを開催します。卓越教授として招聘する講師陣として、アルフレッド・ジャー、イ・ヨンウ、バルトメウ・マリ他を予定しています。

3. 伝統工房演習

独自の近代化を経た日本で唯一の国立芸術大学である本学が培った美術諸領域の伝統と技術のダイナミズムを紹介します。本工房演習は、近代化と伝統を熟考し批評的洞察に導く、他に類をみない開講となります。

◆ 授業開始: 2016年4月

◆ 学事年 : 2016年4月1日—2017年3月31日

◆ 標準修学年数: 2年

◆ 費用

・入学金: 338,400円

・授業料: 535,800円 / 年

・教材費: 300,000円 (渡航費の一部を含み、必要に応じて追加徴収有)

◆ 試験スケジュール

『外国人留学生入試』: 外国籍を有し出願資格を満たす者

・募集人数: 6名程度

・書類提出期限: 2015年9月30日(水)

・試験科目: 書類審査

『学生募集入試』: 日本国籍または外国籍を有し出願資格を満たす者

・募集人数: 12名程度

・試験日程: 2016年2月4日(1次試験)および2月10日(2次試験)

・試験科目: 1次試験「実技および書類審査」、2次試験「面接」

・試験会場: 東京藝術大学 上野校地 (東京都台東区上野公園12-8)

平成28年度東京藝術大学大学院美術研究科(修士課程) グローバルアートプラクティス専攻 外国人留学生入試について

外国籍を有し、文部科学省が定める出願資格（P.4参照）を有する者は、『外国人留学生入試（2015年10月）』と『学生募集入試（2016年2月）』を受験することができます。

1. 募集対象

外国籍を有し、本学が定める出願資格を有する者(P.4参照)

2. 募集人数

6名程度

3. 試験科目

書類審査

4. 出願について

①出願期間：2015年9月1日から9月30日 期間厳守

②出願方法：メールによる願書の提出

→本学HPから募集要項及び願書をダウンロードしてください。8月上旬配布。

URL:<http://www.geidai.ac.jp/english/admin/application>

③検定料の支払：願書が提出された後、大学から支払い方法に関するメールを送ります。

5. 検定料

36,000円(日本円)

6. 受験に必要な提出資料

※提出した資料は返却しないので注意すること。

①卒業(見込)証明書

②学部の成績証明書

③検定料払込書類

④推薦書(3人分)

⑤TOEFL (iBT)、TOEIC (TOEIC)、IELTS (アカデミック・モジュール)の内いずれか
ひとつの成績証明書(母国語が英語ではない方)

⑥ポートフォリオ(A4サイズ以下) 20ページ以内

※ポートフォリオは英語または日本語で作成すること。

⑦補足資料(任意提出)

※補足資料は英語または日本語で作成すること。

7. 受験に必要な提出資料の提出期限

6で指定した資料を下記住所に提出

東京都台東区上野公園1-2-8 東京藝術大学美術学部教務係

『グローバルアートプラクティス専攻 提出資料在中』と朱書きすること

2015年10月23日(金) 16:30まで必着

8. 質問および資料追加請求期間

2015年11月5日～25日

上記期間内に質問や追加資料をメールで請求する場合があります。

願書に連絡の取れるメールアドレスを記入してください。

9. 補足資料について

ポートフォリオの他に、補足資料を提出することができる。

下記3項目から1項目のみ選択すること。

提出資料が再生できない場合は、審査資料から除外する。

提出資料の閲覧は、MacOSX (10.10 Yosemite)で行う。

提出された資料は返却しないので、注意すること

①映像資料(DVD-R、1枚)

- ・動画ファイルをDVD-Rで提出すること。
- ・視聴時間を3分以内に収めること。
- ・映像サイズは1920×1080ピクセル以下にすること
- ・動画ファイル形式はQuick Time形式にすること。(拡張子は.mov)
- ・YoutubeやVimeoなどのWebサービスにアップロードをしてもよい。
その際はURLを記入した紙を提出すること。

②音響資料(オーディオCD、1枚)

- ・視聴時間を3分以内に収めること。
- ・オーディオCDで提出すること。
- ・YoutubeやVimeoなどのWebサービスにアップロードをしてもよい。
その際はURLを記入した紙を提出すること。

③印刷資料(論文等印刷物 3点以内)

- ・著書、論文等印刷物
- ・書籍の一部を抜き出す場合は、該当箇所のコピーを提出すること。
または該当箇所を葉等で分かりやすくすること。

10. 合格発表

12月上旬～中旬

外国人留学生入試 出願資格について

※学生募集入試(2016年2月)の出願資格はp.7です。

【出願資格 10月外国人留学生入試】

本研究科(修士課程)に出願できる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

1. 学校教育法(昭和22年法律第26号)第83条に規定する日本の大学を卒業した者(本研究科入学前までに卒業見込みの者を含む。)
2. 学校教育法(昭和22年法律第26号)第104条第4項の規定(大学評価・学位授与機構)により学士の学位を授与された者(本研究科入学前までに学位取得見込みの者を含む。)
3. 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者(本研究科入学前までに修了見込みの者を含む。)
4. 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者(本研究科入学前までに修了見込みの者を含む。)
5. 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの「当該課程を修了した者(本研究科入学前までに修了見込みの者を含む。)
6. 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
7. 文部科学大臣の指定した者

平成28年度東京藝術大学大学院美術研究科(修士課程)
グローバルアートプラクティス専攻
学生募集入試について

1. 募集対象：文部科学省が定める出願資格を有する者
(P7参照、外国籍を有する者も含む)
2. 試験科目：1次試験 実技試験(ドローイング)、書類審査
2次試験 面接
3. 試験日程：1次試験 2016年2月4日(木)
2次試験 2016年2月10日(水)
4. 試験会場：東京藝術大学 上野校地(東京都台東区上野公園12-8)
5. 出願について
①出願期間：2015年11月24日(火)～11月30日(月)
6. 検定料
36,000円(日本円)
7. 受験に必要な提出資料
※提出した資料は返却しないので注意すること。
①卒業(見込)証明書
②学部の成績証明書
③検定料払込書類
④推薦書(3人分)
⑤TOEFL (iBT)、TOEIC (TOEIC)、IELTS (アカデミック・モジュール)
のいずれかひとつの成績証明書(母国語が英語ではない方)
⑥ポートフォリオ(A4サイズ以下) 20ページ以内
※ポートフォリオは英語または日本語で作成すること。
⑦補足資料(任意提出)
※補足資料は英語または日本語で作成すること。
8. ポートフォリオおよび補足資料提出期限
2016年1月18日(月)～1月22日(金) 16:30 必着
提出先：東京都台東区上野公園12-8 東京藝術大学美術学部教務係

9. 補足資料について

ポートフォリオの他に、補足資料を提出することができる。

下記3項目から1項目のみ選択すること。

提出資料が再生できない場合は、審査資料から除外する。

提出資料の閲覧は、MacOSX (10.10 Yosemite)で行う。

提出された資料は返却しないので、注意すること

A: 映像資料 DVD-R 1枚

- ・動画ファイルをDVD-Rに提出すること。
- ・視聴時間を3分以内に収めること。
- ・映像サイズは1920×1080ピクセル以下にすること。
- ・動画ファイル形式はQuick Time形式にすること。(拡張子は.mov)
- ・YoutubeやVimeoなどのWebサービスにアップロードをしてもよい。その際はURLを記入した紙を提出すること。

B: 音響資料 オーディオCD 1枚

- ・視聴時間を3分以内に収めること
- ・オーディオCDで提出すること。

C: 印刷資料 論文等印刷物 3点以内

- ・著書、論文等印刷物
- ・書籍の一部を抜き出す場合は、該当箇所のコピーを提出すること、または該当箇所をしおり等で分かりやすくすること。

10. 合格発表：2016年2月20日(土) 10:00

2月学生募集入試 出願資格について

※11月外国人留学生募集入試の出願資格はp4です。

【出願資格 2月学生募集入試】

本研究科(修士課程)に出願できる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

1. 学校教育法(昭和22年法律第26号)第83条に規定する日本の大学を卒業した者(本研究科入学前までに卒業見込みの者を含む。)
2. 学校教育法(昭和22年法律第26号)第104条第4項の規定(大学評価・学位授与機構)により学士の学位を授与された者(本研究科入学前までに学位取得見込みの者を含む。)
3. 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者(本研究科入学前までに修了見込みの者を含む。)
4. 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者(本研究科入学前までに修了見込みの者を含む。)
5. 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するもの[^]「当該課程を修了した者(本研究科入学前までに修了見込みの者を含む。)
6. 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
7. 文部科学大臣の指定した者
8. 出願資格1～7に該当しない者のうち、本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達した者

(注) 出願資格1～7に該当しない者のうち、出願資格8により出願を希望する者には、個別に出願資格の審査を行うので、事前に本学美術学部教務係に申し出て申請書類を受け取り、定められた期限(平成27年10月16日)までに本研究科で指定した書類等を書留郵便にて提出すること。審査が終了するまで出願書類等の受理を保留し、審査の結果は、本人宛に通知する。出願資格を有すると認定された者は、本研究科が指定した期日までに検定料を納入すること。